

目次

序章	1
① 人類を襲う感染症	9
1.1 最恐なる感染症	9
1.2 抗生物質と感染症	11
1.3 エマージング感染症	12
1.4 病原体の感染による病状の特徴	14
② 感染症治療薬の歴史	47
2.1 化学療法剤	48
2.2 半合成ペニシリンの開発	51
2.3 放線菌が生む抗生物質	53
③ 抗生物質の種類と作用機序	61
3.1 化学構造の特徴による抗生物質の分類	62
3.2 半合成抗菌剤	64
3.3 抗生物質の作用機序	65
④ 抗生物質耐性菌の脅威	73
4.1 薬剤耐性菌の出現	73
4.2 MRSA と VRE およびディフィシル菌の脅威	80
4.3 新たな抗生物質の開発	85
⑤ 抗生物質を生む放線菌	87
5.1 放線菌の特徴	88

5.2	抗生物質の生産を制御するスイッチ	92
5.3	抗生物質生産菌の自己耐性	95
5.4	放線菌のゲノム情報	106
5.5	抗生物質が遺伝子発現を制御する	113
⑥	次世代感染症治療薬	117
	参考図書・引用文献	125
	跋 文	130
	感染症と、放線菌のつくる抗生物質—そのせめぎ合いに迫る— (コーディネーター 高橋洋子)	137
	索引	145